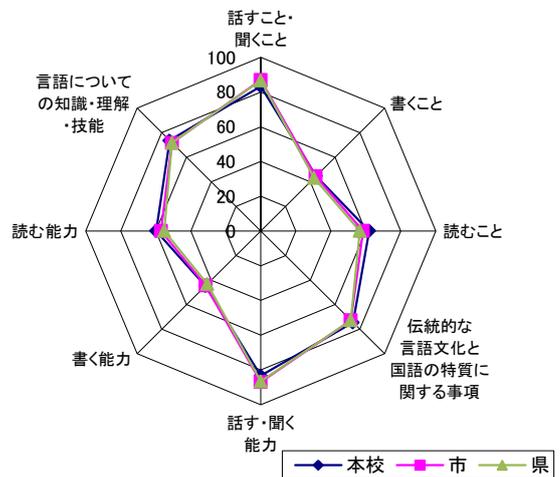


宇都宮市立西原小学校 第4学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	83.3	87.0	86.7
	書くこと	44.8	44.5	43.1
	読むこと	62.0	58.5	56.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	74.5	72.8	72.8
観点	話す・聞く能力	83.3	87.0	86.7
	書く能力	44.8	44.5	43.1
	読む能力	59.7	57.0	55.1
	言語についての知識・理解・技能	73.7	71.7	71.7



★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	他の領域と比べて平均正答率が高い。 ○互いの考えの共通点や相違点を整理して聞くことは、県の正答率を上回り、よくできている。 ●県の正答率と比べると、話の中心に気を付けて聞くことには課題が見られる。	集中して話を聞くことを身に付けられるようにするため、話す聞く活動を意図的に設定するなど、話の聞き方の指導を様々な場面で継続的に行っていく。
書くこと	他の領域と比べると平均正答率は低い。 ○書くこととするものの中心を明確にし、記述することは県の正答率を上回っている。 ●報告書など文章構成を理解することに課題が見られた。また、手紙文を適切な順序と言葉づかいに書き直すことがよくできていない。	何のために書くのか目的意識を持たせた活動の場を設定し、必要な事柄を抜かずに順序立てて書くことや手紙の書き方など基本的な知識を押さえて指導していく。
読むこと	県や市と比べると平均正答率が高い。 ○目的や必要に応じて、文章の内容を読み取ったり中心となる語や文をとらえたりすることは概ねできている。 ●叙述を基に、登場人物の気持ちを想像して読んだり場面の移り変わりを読んだりすることに課題が見られる。	前後の文脈に着目させ、段落と段落の関係に気を付けて読む指導を行っていくとともに読書活動を推進し、いろいろな分野の本を読むように働きかけていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	県や市の平均正答率をやや上回っている。 ○第3学年配当漢字を読んだり書いたりすることはよくできている。 ●主語と述語についての理解や漢字のへんやつくりなどの構成の理解に課題が見られる。	今後も文や文章を書くときは、既習の漢字を正しく用いるよう指導を行っていく。また、文法や漢字の部首などについて確認したり復習したりする場を設定し、定着を図っていく。